

# 明治初期の現・東京大学 本県出身の学者たち

渡辺洪基：帝国大学初代総長 平瀬作五郎：植物学者、教育者  
佐々木忠次郎：昆虫学の創始者 大森房吉：日本地震学の父

1877	明治10	文科省所管の官立東京大学創設		
1886	明治19	帝国大学に改称	渡辺洪基	1886帝国大学理科大学
			1886初代総長	↓1888(M21)画工採用
			↓	↓1890技手
			1890 (M23)	↓1893助手任命/イチヨウ研究
		1891佐々木忠次郎/昆虫学教授		1889農科大学設置
1897	明治30	東京帝国大学に改称		1896イチヨウ精子発見
		1897大森房吉/地震学教授		1897帝国大学退職/滋賀県へ
			1919分科大学制廃止(理学部)	1912恩賜賞受賞
1947	昭和22	東京大学に改称	【参考】	
1949	昭和24	新制 東京大学発足	1951藤田良雄/天文学教授	1963竹内均/地球物理学教授



一八八八(明治21)年から帝国大学植物学教室に、植物図などを描く画工として採用。93年からイチヨウの研究を開始、96年に世界で初めてイチヨウの精子の存在を発見し、世界を驚かせました。この功績で明治45年恩賜賞を受賞。



渡辺洪基  
一八八八(明治21)年〜一九〇一(明治34)年  
福井市

イチヨウ精子発見  
平瀬作五郎  
一八八六(明治19)年〜一九一五(大正14)年  
福井市

福沢諭吉の塾で英語を学び、戊辰戦争後外務省に入り、岩倉具視の欧米使節団に同行しました。一八八五(明治18)年に東京府知事、翌年に帝国大学の初代総長に就任し、東京大学の基盤を築きました。



帝国大学初代総長  
渡辺洪基  
一八八八(明治21)年〜一九〇一(明治34)年  
福井市

一八九七(明治30)年から地震学教授を務め、現在に残る2つの公式を示しました。世界初の「大森式地震計」を発明。一九一四(大正3)年、ノール賞委員会からの論文提出要請を受けず、現地調査や防災の提言を優先しました。



大森房吉  
一八六八(明治元年)〜一九三三(大正12)年  
福井市

地震学の父  
佐々木忠次郎  
一八五七(安政4年)〜一九三八(昭和13)年  
福井市

福井藩校明新館でグリフィスに学び、東京大学に進学。一八九一(明治24)年初代昆虫学教授に就任。徹底した観察で、習性や天敵を研究。国蝶のオオムラサキの属名「ササキヤ」は博士に対する献名。



昆虫学の創始者  
佐々木忠次郎  
一八五七(安政4年)〜一九三八(昭和13)年  
福井市

福井で新幹線に乗車できるとなると、東京への修学旅行の定番、体育館で移動時間を計った新幹線への米原乗り換え練習は無くなりませぬ！



〇系新幹線の修学旅行1972(昭和47)年

新幹線が福井にやってくる！  
福井の修学旅行展  
企画展 10月7日〜12月17日  
二〇二四年の春、北陸新幹線が福井・敦賀に延伸開業します。東海道新幹線開通以来、福井県でも多くの学校で新幹線が修学旅行などで利用されてきました。今回の展示では、福井・敦賀までの開業を記念し修学旅行の歴史や福井県の先人と修学旅行について、そして現在の修学旅行のあり方を、過去の写真やアルバム、しおりとともに紹介します。

福井の修学旅行展  
企画展 10月7日〜12月17日  
二〇二四年の春、北陸新幹線が福井・敦賀に延伸開業します。東海道新幹線開通以来、福井県でも多くの学校で新幹線が修学旅行などで利用されてきました。今回の展示では、福井・敦賀までの開業を記念し修学旅行の歴史や福井県の先人と修学旅行について、そして現在の修学旅行のあり方を、過去の写真やアルバム、しおりとともに紹介します。

新幹線が福井にやってくる！  
福井の修学旅行展  
企画展 10月7日〜12月17日  
二〇二四年の春、北陸新幹線が福井・敦賀に延伸開業します。東海道新幹線開通以来、福井県でも多くの学校で新幹線が修学旅行などで利用されてきました。今回の展示では、福井・敦賀までの開業を記念し修学旅行の歴史や福井県の先人と修学旅行について、そして現在の修学旅行のあり方を、過去の写真やアルバム、しおりとともに紹介します。